

中田宏横浜市長を揺さぶる「官製談合」疑惑 (2005.2.10)

日刊ゲンダイ

<http://gendai.net/contents.asp?c=031&id=17922>

.....

参考記事

横浜市進出を狙う産廃業者シンシアに新たな動き (2004.12.27+10.31)

<http://satou-labo.sci.yokohama-cu.ac.jp/041227outlaws.htm>

神奈川新聞 (7月2日付) : 競売入札妨害容疑 横浜市部長を逮捕 「保身」価格漏らす 県警, 業者2人も 佐藤市議再逮捕 (2003.7.2)

<http://satou-labo.sci.yokohama-cu.ac.jp/page141.html>

入札制度の透明性、競争性の向上を (2002.12.18)

<http://satou-labo.sci.yokohama-cu.ac.jp/021218ohnuki-nyusatsu.htm>

.....



【この会社の人と事件】

2005年2月10日 掲載

中田宏横浜市長を揺さぶる「官製談合」疑惑

2社が33億3333万3333円で入札

改革派と称される中田宏横浜市長の足元が、大揺れに揺れている。1月末に行われた市有地の売却に対して、市議5人が「不当に安く売却した官製談合だ」と批判。とうとう、一昨日(7日)記者会見を開き、契約の停止と調査を中田市長に申し入れた。

ここまで問題が大きくなった原因は、事前に「談合情報」がありながら、横浜市が市有地売却を予定通りに強行、談合情報で名指しされた企業が落札したためだ。しかも落札企業が、かつて全国紙も取り上げた“問題企業”とあって、疑惑に拍車をかけている。

落札したのは「横浜金沢シンシア」という産廃業者。NECの関連会社である「シンシア」が80%出資している。

「シンシア」は、一時、マスコミを騒がせた知る人ぞ知る会社だ。02年頃、NEC本社や関本忠弘元会長の自宅に街宣がかかった。街宣を行った男性に資金を提供したのがシンシアだった。当時、朝日新聞も「街宣男性側に2500万円」と大きく報じたが、シンシアはNECの関連会社。NECへの街宣に、NECの関連会社が資金を出す不自然さが注目された。

その騒がれたシンシアの子会社が、談合情報通りに落札した格好だ。しかも、入札のやり方に疑義が出ている。1月末の入札に参加したのは「横浜金沢シンシア」とA社を加えた2社。驚くことに、入札価格が33億3333万3333円と同額だった。クジ引きの結果、横浜金沢シンシアが落札した。この開札にA社が怒っている。

「通常、開札は入札者の目の前で封を切るのが一般的ですが、今回は仕切りの向こうで入札者の見えない所で開札され、しかも15分近くもかかりました。クジ引きの方法も、ほとんど説明があり



ませんでした。横浜市の対応によっては刑事告発も考えています」

横浜市は「開封もクジも従来と同じ方法です」と答える。奇怪なのは、どういう経緯か、横浜市も「横浜金沢シンシア」に出資していることだ。代議士を経て37歳で当選、若さと清潔さで売っている中田市長。市民が納得する説明が必要だろう。【坂田拓也】